

平成26年度事業計画書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

平成26年度は、来年3月に創立40年を迎える節目の年にあたり、福利共済事業では、記念事業を通じて加入事業所及び会員の皆さまへの感謝の意を伝えるとともに、スケールメリットを活かした多彩な事業展開に努めていきたい。

また、公益財団法人として2年目に入り、今後も受益の効果が広い範囲に及ぶよう、積極的な加入促進活動や情報提供に努め、引き続き公益認定基準を遵守した健全な財政運営を行うとともに、公益目的事業である特定退職金共済事業をはじめ、退職積立金等の安全・堅実な運用を第一とした運営に努めていく。

2月の政府月例経済報告では、景気は緩やかに回復しており、景気の回復基調が続くことが期待されるが、消費増税に伴う駆け込み需要及びその反動が見込まれるとし、また、日銀札幌支店の同月の金融経済概況では、道内の景気は緩やかに回復しており、労働需給は改善していると報告されている。

市内中小企業の景況は緩やかな回復基調のなかにも先行きへの懸念があるものと推察されるが、会員数の拡大に向けて、役職員一丸となって加入促進活動に取り組んでいきたい。

重点的な取組み

○特定退職金共済事業及び事業主年金等共済事業

- ・退職積立金の安全・堅実な運用の維持
- ・積立金運用委託生命保険会社にアクサ生命保険株式会社を加え8社体制に拡充

○福利共済事業

- ・創立40周年記念事業の実施
創立記念コンサート、親子映画鑑賞、シティジャズ2014(助成)、
芸術の森ウィーク(助成)
- ・指定施設の拡充
スポーツクラブ1箇所、ボウリング場5箇所

○会員加入促進活動及び情報提供事業

- ・札幌駅前通地下歩行空間での広告掲示、ラジオ広告、
「地下鉄大通駅電飾看板広告」掲示、雑誌等広告掲載
- ・未加入企業等へのダイレクトメール発送
- ・業界団体等への訪問
- ・アクサ生命保険株式会社を加えた委託生命保険会社8社との連携強化
- ・会員情報誌のページ数を増やし見やすく編集

(参考) 当法人の事業体系

区 分	事 業 名	
公益目的事業	特定退職金共済事業	
	事業主年金等共済事業	
その他の事業 (相互扶助等事業)	福利共済事業	(1) 余暇活動支援事業 (2) 健康維持管理増進支援事業 (3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業 (4) 生活安定支援事業 (5) 慶弔金贈呈事業 (6) 加入促進活動及び情報提供事業

1. 会員数、企業数の見通しについて

平成25年度の会員数は、加入促進策の効果や雇用情勢の回復傾向を背景に新規加入数が前年比690人増の2,138人、また、追加加入数も前年比940人増の8,354人となる見込みで、加入数全体では前年比1,630人増の10,492人と、平成19年度以来7年ぶりに年間加入数が1万人の大台を超える見込みとなった。

一方、退会数は、前年比251人増の8,809人が見込まれ、年度末会員数は、前年比1,683人増の75,200人となる見通しである。

平成26年度は、景気回復への消費増税の影響が予想されることもあり、前年度並みの加入数確保は厳しくなることが予想されるものの、退会数は、過去の傾向を踏まえ前年度より減少すると見込んだ。これにより、会員数は、前年比600人増の75,800人、企業数は、前年比92社減の8,714社と推計した。

【会員等の推移】

・ 会員の推移

(単位:人)

年 度	期首会員数	会員加入数	会員退会数	期末会員数	対前年増減
21年度	77,013	9,272	10,971	75,314	△1,699
22年度	75,314	9,061	9,834	74,541	△773
23年度	74,541	8,601	9,929	73,213	△1,328
24年度	73,213	8,862	8,558	73,517	304
25年度見込	73,517	10,492	8,809	75,200	1,683
26年度見込	75,200	9,374	8,774	75,800	600

・ 会員企業の推移

(単位:社)

年 度	期首企業数	加入企業数	退会企業数	期末企業数	対前年増減
21年度	9,467	445	566	9,346	△121
22年度	9,346	408	632	9,122	△224
23年度	9,122	369	517	8,974	△148
24年度	8,974	372	494	8,852	△122
25年度見込	8,852	444	490	8,806	△46
26年度見込	8,806	408	500	8,714	△92

2. 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、特定退職金共済事業を実施する。

また、積立金運用委託生命保険会社にアクサ生命保険株式会社を加え8社体制とし、効率運用及びリスク管理を強化するとともに、積立金の安全・堅実な運用を第一とした運営に努めていく。

3. 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員並びに個人事業主等の退職(廃業)後の生活基盤の安定など退職(廃業)に備え、あらかじめ資金を準備しておくための独自の共済制度として、事業主年金等共済事業を実施する。

また、積立金運用委託生命保険会社にアクサ生命保険株式会社を加え8社体制とし、

効率運用及びリスク管理を強化するとともに、積立金の安全・堅実な運用を第一とした運営に努めていく。

4. 福利共済事業

会員と家族の余暇活動の充実、健康維持増進、生活の安定等に役立つよう、以下の事業を実施するとともに、創立40周年を迎えるにあたって、記念事業を実施する。

また、福利共済事業(融資あっせん事業及び慶弔金贈呈事業を除く)は、限られた予算のなかで会員ニーズに応えるべく、既存事業の見直しを進めるとともに指定施設の拡充を図っていくこととし、これにより当該事業の参加予定者を約379,000人と見込んだ。なお、助成事業の施設等及び料金は別添のとおり。

融資あっせん事業は、市中金利の状況を踏まえ、対象資金の貸付金利を据え置くこととし、64,000千円の前原資をもとに、約126,000千円の融資枠を設定した。

慶弔金贈呈事業については、件数では前年度予算に比べ1.8%増の18,840件、金額では3.0%増の263,450千円を計上した。

また、福利共済事業の実施財源に、当該年度の福利会費合計額の94%にあたる506,998千円を見込んだ。

(1) 余暇活動支援事業

会員が家族と充実した余暇を過ごすことにより、心身のリフレッシュと心豊かな生活の実現を支援するため、次に掲げる事業を実施する。

区 分	事 業 名	平成26年度参加見込数
自主事業	(創立40周年記念事業)	
	創立記念コンサート	2,000人
	親子映画鑑賞	1,480人
	(演芸会・クラシックコンサート)	
	年忘れ演芸会	2,200人
	ニューイヤークラシックコンサート	2,000人
	(レクリエーション)	
親子レクリエーション	120人	
レクバス・日帰りバスツアー	2,120人	
助成事業	(創立40周年記念事業)	
	シティジャズ2014	550人
	芸術の森ウィーク	1,200人
	(旅行・施設利用等)	
	国内旅行参加	2,900人
	海外旅行参加	20人
	指定保養施設等利用	2,315人
	円山動物園他道内80ヶ所のレク・娯楽施設入園	129,960人
	コンサドーレ・ファイターズ等スポーツ観戦	21,000人
	映画館入場	54,000人
	観劇・音楽会・美術展入場	14,000人
音楽定期会員等	100人	

(2) 健康維持管理増進支援事業

健康維持・増進・予防のための健康診断をはじめ、健康増進のための各種事業、施設の利用を促進する事業を実施する。

ア 健康管理

一般より低廉な費用で健康診断を受けられるよう、市内23ヶ所の医療機関と助成契約を締結し健診料の一部を会員に助成する。人間ドック健診は会員料金のほかに割安の家族料金を設けている。

区 分	事 業 名	平成26年度参加見込数
助成事業	定期健康診断(I・II・IIIコース)	10,200人
	人間ドック(1泊2日・日帰り・パブリックコース)	1,570人
	部位ドック(心臓、脳、骨、大動脈・血管)	} 2,260人
	がん検診(大腸、肺、乳・子宮、PET単独検査)	
	インフルエンザ予防接種	

イ 健康増進

会員と家族の健康づくりを積極的に支援するため、各種スポーツ大会、こどもスポーツ教室を開催する。また、一般より低廉な料金で市内外のスポーツ施設・健康施設を利用できるように料金の一部を助成する。

区 分	事 業 名	平成26年度参加見込数
自主事業	(スポーツ大会)	
	野球大会(80チーム)	1,600人
	パークゴルフ大会	150人
	ゴルフ大会	100人
	ボウリング大会	130人
	スポーツセミナー	100人
	(こどもスポーツ教室)	
こどもサッカー教室	120人	
	こども野球教室	100人
助成事業	市民マラソン等スポーツ大会参加	600人
	スキーリフト・スキーランチパック	34,500人
	スケートリンク入場	250人
	スキー・ゴルフスクール	76人
	スポーツクラブ利用	42,500人
	プール利用	15,500人
	区民体育館等利用	12,000人
	ボウリング場利用	8,000人
	ゴルフ場利用	200人
	パークゴルフ場利用	5,200人
	スポーツ奨励	30人
野球場 管理運営	軟式野球場2面の管理運営 (厚別区山本、面積53,680㎡、駐車場含) 会員利用時以外は、市民に開放する。 利用料金(会員1,000円/2h、会員以外2,000円/2h)	8,000人

(3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業

業界や企業の発展に貢献した事業主及び会員に、社業の発展、職務精励などの功績を称え記念品を贈呈し、勤労意欲の向上と企業の発展を支援する。また、会員と家族の自己啓発・研鑽のための、セミナー・講座等受講料の一部を助成する。

区 分	事 業 名	平成26年度参加見込数
自主事業	勤続(経営従事)功労者記念品贈呈(30年・40年)	80人
助成事業	経営等セミナー	300人
	生涯学習講座	250人
	クッキングスクール・料理講習会	90人
	ガーデニング講習会	200人
	手工芸講習会	50人

(4) 生活安定支援事業

ア 融資あっせん事業

会員の生活基盤の確立を支援するため、次の資金について、一般より低利の融資あっせん事業を実施する。

資 金 名	融資限度額	返済期間	融資利率(年利)	保証料	取扱金融機関
文化厚生資金	50万円	3年	1.60%	別途	北洋銀行 北海道銀行
奨学資金	150万円	5年	1.40%		
マイカー購入資金	200万円	5年	1.98%		

※貸付時に別途保証料がかかる。

イ 割引指定店事業

日常生活をサポートするため、47業種、380施設・店舗を指定し、物品等の購入や各種指定施設の利用に際し、会員証提示により一般より低価格で利用できる割引指定店事業を実施する。

(5) 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金贈呈事業を実施する。

項 目	金 額 (1件)	平成26年度贈呈見込数
①成人祝金	5,000円	140件
②結婚祝金	加入年数3年未満 20,000円	630件
	加入年数3年以上 30,000円	870件
③出産祝金	20,000円	1,830件
④入学祝金	10,000円	3,550件
⑤永年勤続慰労金	勤続5年 5,000円	3,210件
	勤続10年 10,000円	2,170件
	勤続15年 15,000円	1,280件
	勤続20年 20,000円	1,010件
⑥還暦祝金	10,000円	1,210件
⑦銀婚・金婚祝金	銀婚 20,000円	510件
	金婚 30,000円	80件
⑧傷病見舞金	20,000円	660件
⑨災害見舞金	損害の程度に応じ 10,000円	20件
	3段階の見舞金 30,000円	5件
	50,000円	3件
⑩死亡弔慰金	会員 50,000円	110件
	会員の配偶者・子(養子を含む) 30,000円	100件
	会員の実父母(養父母を含む) 20,000円	1,340件
	会員と同居していた配偶者の 10,000円	
	実父母(養父母を含む)・死産	110件

(6) 加入促進活動及び情報提供事業

スケールメリットを活かした充実の福利制度と、安全・堅実な退職金制度のPRを積極的に行い、未加入の中小企業者及び中小企業勤労者等への加入促進を図る。また、会員及び未加入者に対して、当センターの団体概要や共済制度などについて、情報を提供するための事業を実施する。

項目	内容
加入促進活動	①未加入企業や業界団体への戸別訪問及びダイレクトメールの発送 ②広報活動 ③制度普及支援
情報提供	①制度パンフレット、リーフレットの発行及び配布 ②会員情報誌(年5回)及び利用ガイドブック(年1回)の発行及び配布。 ③ホームページによる情報提供